

※1ME:「メンテナンス・エキスパート」構造物等の維持管理に関する高度な知識を持ち、劣化状態等を的確に診断し対処できる技術者を意味する。
 ※2MMR:「メンテナンス・マネージャー」構造物等の維持・修繕に関する日常的管理や、保全計画の策定等ができる技術者を意味する。

※朱書き下線部が第3回協議会以降の修正箇所

	ふくしまME(防災) ふくしまME(保全)	ふくしまMMR
目指すレベルの 既存資格	①技術士「建設部門」 「応用理学部門」(地質) ②RCCM (技術士の建設部門に含まれる科目及び 応用理学部門(地質)に該当する部門のみ) ③1級土木技術者 ④国登録民間資格の <u>一部の施設分野において</u> 、 診断での登録を受けている資格 ※代表例: 橋梁(診断) ・コンクリート診断士 ・土木鋼構造診断士 ・一級構造物診断士 ・コンクリート構造診断士 ・他県ME など	あり方を踏まえ、 要検討 ①技術士 「総合技術監理部門」

※1: 表中に記載している既存資格のレベルを、ME育成講座が目指すことを想定している。

※2: 既存資格取得者と同様に、ふくしまME(防災)及びふくしまME(保全)も活用していくことを想定している。

ふくしまME(防災)、(保全)コース概要(案)

資料5-3

■ 来年度より開始するコースと対象とする施設

※朱書き下線部が第3回協議会以降の修正箇所

コース名称	対象施設	点検要領等(国)	設定されている国登録分野
(枠組み)	自然斜面及び地盤変状に伴う作用等により影響を受ける 構造物等 を対象とする。		
ふくしまME(防災)コース	(項目)	自然斜面	道路防災総点検
		道路土工構造物	道路土工構造物点検要領
		シェッド・大型カルバート	シェッド、大型カルバート等定期点検要領
		トンネル	道路トンネル定期点検要領
			トンネル点検・診断(担当技術者)
(枠組み)	外的要因により 部材 劣化が生じるコンクリート・鋼構造物等を対象とする。		
ふくしまME(保全)コース	(項目)	橋梁	道路橋定期点検要領
		横断歩道橋	横断歩道橋定期点検要領
		舗装	舗装点検要領
		門型標識	門型標識等定期点検要領
		小規模附属物	小規模附属物点検要領
			橋梁点検・診断(担当技術者)
			舗装点検・診断(担当技術者)
			小規模附属物点検・診断(担当技術者)

■ 今後、ME防災、ME保全に追加を検討していく施設(国や他県の動向やニーズを踏まえ判断)

分野	対象施設	点検要領等(国)	設定されている国登録分野	想定するコース	
河川等構造物	河川堤防	堤防等河川管理施設及び河道の点検要領	堤防・河道点検・診断(管理・担当技術者)	防災	
	樋門・樋管	樋門等構造物周辺詳細点検要領	—	保全	
	地すべり対策施設	砂防関係施設点検要領(案)	地すべり防止施設点検・診断(管理技術者)	防災	
	急傾斜地崩壊防止施設	砂防関係施設点検要領(案)	急傾斜地崩壊防止施設点検・診断(管理技術者)	防災	
	なだれ防護施設	—	—	防災	
	砂防ダム	砂防関係施設点検要領(案)	砂防設備設点検・診断(管理技術者)	個別対応	
	ダム	河川砂防技術基準維持管理編(ダム編)	—	個別対応	
		※定期検査の実施者が国又は県職員であり、民間技術者の活用が難しい			
		港湾	港湾の施設の点検診断ガイドライン	港湾施設点検・診断(管理技術者)	個別対応
	※対象施設が少ないため対応を検討する必要あり				
	海岸保全施設	海岸保全施設維持管理マニュアル	海岸堤防等点検・診断(管理技術者)	防災	
上下水道	上水道	—	—	個別対応	
	下水道	下水道維持管理指針	下水道管理施設の点検・診断(管理技術者)	個別対応	
建築物	公営住宅・庁舎	平成20年国交省告示第282号、第1350号	—	個別対応	
	※一級・二級建築士等の点検が義務付けられており、有資格者による独自の技術者育成方法を検討する必要あり				

● 農林水産施設についても、今後対象に含めることを検討する。

ふくしまME(基礎)コースを一部免除とする国登録分野(案)

資料5-4

■: ふくしまME(基礎)コースを一部免除とする施設分野・業務等

施設分野等	業務	知識・技術を求める者		
		業務の管理及び統括等を行う者(管理技術者)	業務の技術上の照査を行う者(照査技術者)	業務を担当する者(担当技術者)
土木機械設備	診断	○		
公園施設(遊具)	点検	○		○
	診断	○		○
堤防・河道	点検・診断	○		○
下水道管路施設	点検・診断	○		
	点検			○
砂防施設	点検・診断	○		
地すべり防止施設	点検・診断	○		
急傾斜地崩壊防止施設	点検・診断	○		
海岸堤防	点検・診断	○		
橋梁(鋼橋)	点検			○
	診断			○
橋梁(コンクリート橋)	点検			○
	診断			○
トンネル	点検			○
	診断			○
舗装	点検			○
	診断			○
小規模附属物	点検			○
	診断			○
港湾施設	計画策定(維持管理)	○		
	点検・診断	○		
	設計(維持管理)	○		
空港施設	点検・診断	○		
	設計(維持管理)	○		

※上記は、国土交通省の登録規定において対象としている分野等から、点検・診断業務に関連するもののみを記載
 ※国土交通省登録民間資格の施設分野等については、H30.2末時点であり、今後変更となる可能性がある。

ふくしまME(基礎)コースを一部免除とする特定資格(案)

資料5-5

	部門、資格名称	実施主体
技術士	建設部門(全ての専門科目)	文部科学省
	応用理学部門(地質)	
国土交通省登録民間資格	海洋・港湾構造物維持管理士	一般財団法人 沿岸技術研究センター
	都市道路構造物点検技術者	一般財団法人 首都高速道路技術センター
	点検診断士	一般財団法人 阪神高速道路技術センター
	主任点検診断士	一般財団法人 阪神高速道路技術センター
	地すべり防止工事士	一般社団法人 斜面防災対策技術協会
	土木鋼構造診断士	一般社団法人 日本鋼構造協会
	一級構造物診断士	一般社団法人 日本構造物診断技術協会
	河川技術者資格(河川維持管理技術者)	一般財団法人 河川技術者教育振興機構
	河川技術者資格(河川点検士)	一般財団法人 河川技術者教育振興機構
	構造物保全上級技術者	一般社団法人 国際建造物保全技術協会
	舗装診断士	一般社団法人 日本道路建設業協会
	コンクリート構造診断士	公益財団法人 プレストレストコンクリート工学会
	砂防・急傾斜管理技術者	公益社団法人 砂防学会
	コンクリート診断士	公益社団法人 日本コンクリート工学会
	高度道路点検診断士(土木)	公益財団法人 高速道路調査会
	四国社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 愛媛大学
	社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 岐阜大学
	道守コース	国立大学法人 長崎大学
	特定道守コース	国立大学法人 長崎大学
	橋梁診断士	国立大学法人 名古屋大学
社会基盤メンテナンスエキスパート山口	国立大学法人 山口大学	
RCCM	河川、砂防及び海岸・海洋	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
	港湾及び空港	
	電力土木	
	道路	
	鉄道	
	都市計画及び地方計画	
	地質	
	土質及び基礎	
	鋼構造及びコンクリート	
	トンネル	
	施工計画、施工設備及び積算	
	建設環境	
	土木学会認定土木技術者	
上級土木技術者		
1級土木技術者		

※国土交通省登録民間資格については、H30.2末時点であり、今後変更となる可能性がある。

- : 実務経験のみによる
受講要件
- : 特定資格取得者の
受講要件

※特定資格一覧は資料5-5参照

※朱書き下線部が第3回協議会以降
の修正箇所

ふくしまME(防災)
ふくしまME(保全)
認定 ※コース毎に認定

ふくしまME(防災)、(保全)コース受講
認定試験の合格

【実務経験のみ】

【特定資格取得者】

ふくしまME(基礎)
認定
+

・官公庁等土木技術者のうち、社会資本の維持管理業務、または、設計・計画、監督業務の経験が3年以上
・民間建設関連業土木技術者のうち、社会資本の点検・調査、新設・補修・補強に関わる設計・施工管理業務を主体的な立場での経験が3年以上
(※主体的な立場:委託業務は担当技術者、施工管理業務は現場代理人などとする。)

特定資格を取得
+

ふくしまME(基礎)
必修講義の受講

【特定資格】

・技術士「建設部門」、
「応用理学部門(地質)」

・RCCM

(技術士の建設部門に含まれる科目及び応用理学部門(地質)に該当する部門のみ)

・土木学会認定土木技術者

(特別上級、上級、1級土木技術者)

・国登録民間資格(他県ME含む)の一部の施設分野において、診断での登録を受けている資格

ふくしまMMR
認定

ふくしまMMRコース受講
認定試験の合格

あり方を踏まえ、要検討

ふくしまME
(防災)、(保全)
認定
+
実務経験

下記資格を有する者
・技術士
・特別上級土木技術者

ふくしまME(基礎)
認定

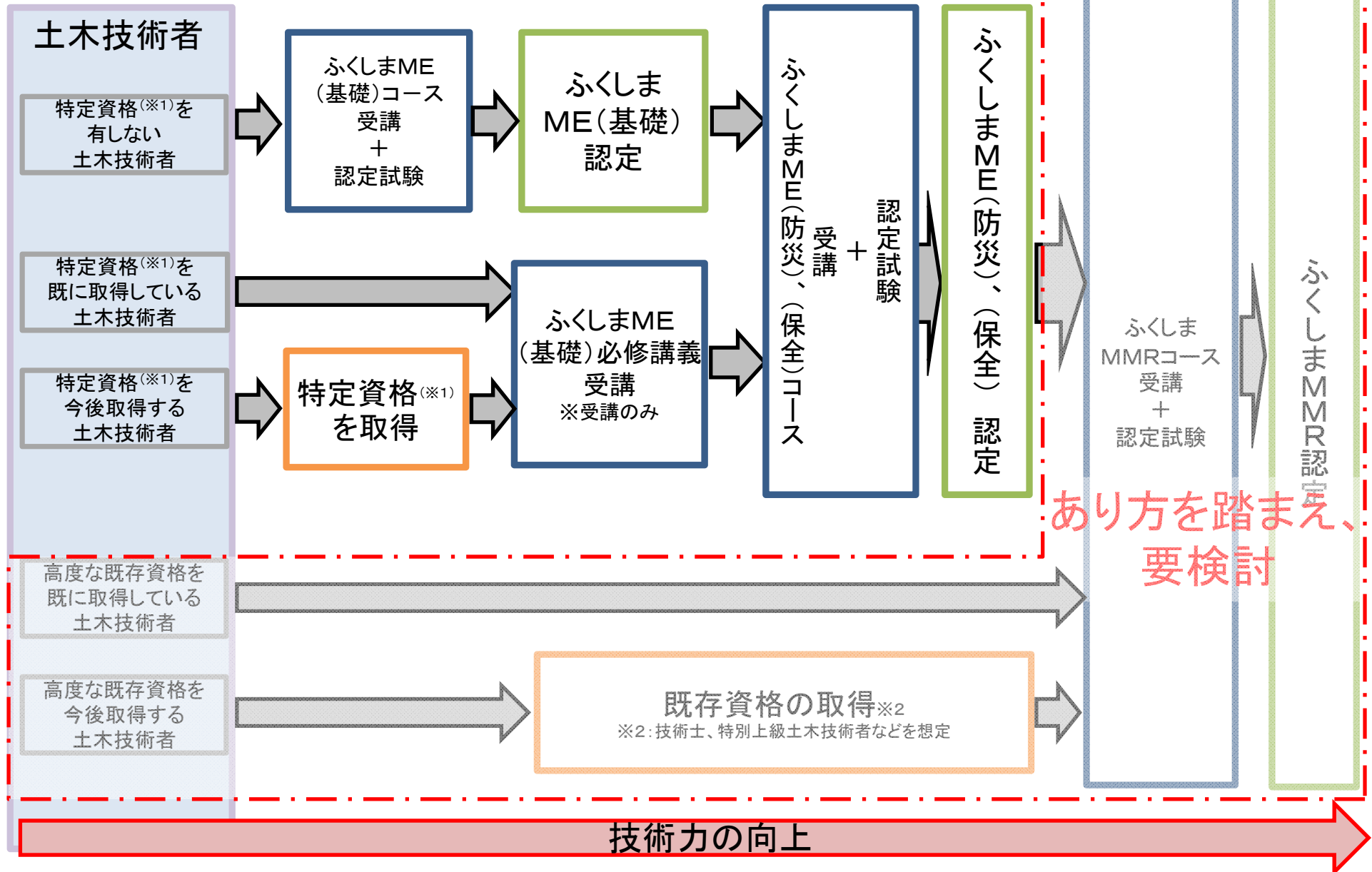
ふくしまME(基礎)コース受講
認定試験の合格

実務経験
2年以上

ふくしまME(防災)、(保全)の育成フロー図(案)

資料5-7

※1: 特定資格一覧は資料5-5参照



ふくしまME(基礎)コースの必修講義(案)

資料5-8

平成29年度第1回ふくしまME基礎コース 実施スケジュール

	講義時間	講義名	講師
1週目 11月24日 (金)	10:00~10:30	ME研修の意義、実施要領説明	日本大学工学部、福島県、協議会事務局
	10:40~12:00	福島県の社会基盤施設の維持管理概要	福島県
	13:00~14:30	福島県の地形・地質	(一社)福島県地質調査業協会
	14:40~16:10	トンネル維持管理の基礎	(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部
2週目 12月1日 (金)	9:20~10:20	斜面崩壊・落石の概論	日本大学工学部
	10:30~12:00	点検と防護の基礎	(公社)日本技術士会東北本部福島県支部
	13:00~14:00	盛土・基礎地盤の崩壊・変形の概論	日本大学工学部
	14:10~15:40	盛土・基礎地盤の点検基礎と対策	(公社)日本技術士会東北本部福島県支部
	15:50~17:20	舗装維持管理の基礎	ふくしまインフラ長寿命化研究会
3週目 12月8日 (金)	9:00~10:30	構造力学/鋼橋の基礎	日本大学工学部
	10:40~12:10	コンクリート橋の基礎	日本大学工学部
	13:00~14:30	橋梁メンテナンスの概論と 福島県橋梁管理の基礎	日本大学工学部
	14:40~17:00	部材劣化の基礎	ふくしまインフラ長寿命化研究会
4週目 12月15日 (金)	9:00~10:30	コンクリート橋の損傷	ふくしまインフラ長寿命化研究会
	10:40~12:10	鋼橋の損傷	ふくしまインフラ長寿命化研究会
	13:00~16:00	点検・診断の基礎	ふくしまインフラ長寿命化研究会
5週目 12月22日 (金)	9:00~12:00	A班 補修事例橋梁の実習 意見交換会	日本大学工学部 ふくしまインフラ長寿命化研究会 他
	13:00~15:00		
	12:00~15:00	B班 補修事例橋梁の実習 意見交換会	
	15:15~17:15		
5週目 12月23日 (土)	10:00~12:30	認定試験	-

■: ふくしまME(基礎)必修講義(案)

【基礎コースを一部免除する資格(分野等)】

- ①技術士
(建設部門、応用理学部門(地質))
- ②RCCM
(技術士の建設部門に含まれる科目及び
応用理学部門(地質)に該当する部門のみ)
- ③土木学会認定土木技術者
(特別上級、上級、1級土木技術者)
- ④国登録民間資格
(一部の施設分野において診断での登録を受けて
いる資格(対象は資料5-4参照))

基礎コースの必修講義については、福島県の地域特性や、MEコースのコース選択によっては履修しないトンネルと舗装の維持管理に係る講義とする。
なお、必修講義は基礎コースの初日に実施する。

【必修講義】

- ①福島県の社会基盤施設の維持管理概要
- ②福島県の地形・地質
- ③トンネル維持管理の基礎
- ④舗装維持管理の基礎